

直前早慶大日本史
【2 回目】



問題

【1】

解答

問1 イ 問2 エ 問3 円仁 問4 修験道 問5 エ
問6 日本往生極楽記 問7 エ 問8 イ 問9 ウ 問10 明恵（高弁）

解説

問1～問4は、平安仏教の開祖である最澄と空海に関する問題である。

最澄は767（神護景雲元）年に近江国に生まれた。804（延暦23）年に短期留学生として唐に渡り、天台山で学んだ。ここで密教にも出会い、遣唐使の帰りの船を待つ間に、順暁阿闍梨という僧侶について密教を学んでいる。最澄の帰国後、桓武天皇は密教に強い関心を示し、805（延暦24）年に日本で最初の灌頂（密教伝授の儀式）が最澄によって執り行われた。

空海は774（宝亀5）年に讃岐国に生まれた。上京して大学に学んだが、仏教に転じ、797（延暦16）年に『三教指帰』を著して儒・道・仏を比較し仏教の優位を説いた。804年に留学僧として唐に渡り、中国密教の基礎を築いたインド僧不空から密教の奥義を受け継いだ青竜寺の恵果について密教を学んだ。

空海の帰朝で、仏教界の地図は大きく塗り替えられた。密教的要素は奈良仏教の時代にも伝わっていたが、中国の最新の密教が伝わったことで、平安仏教は奈良仏教と一線を画した。南都六宗の宗は学派であって宗派ではないといわれる。諸宗兼学が当然のこととして行われるからである。それに対し空海は、釈迦が人々にわかりやすいようにと説いたものである教典から学ぶ顕教は、大日如来がみずから味わう究極の教えを体感する密教に及ばないとする。そこには兼学という発想は入り込む余地はない。空海と袂を分かった最澄は奈良仏教との論争を繰り返すようになる。天台宗は法華経による点では顕教的であり南都六宗と共通性を持っている。天台宗が宗派として存立するには奈良仏教との差別化が必要不可欠であっただろう。

問1

ア 最澄は東大寺戒壇に対して独自の大乗戒壇を持つことを主張したのであるから誤りである。

最澄の大乗戒壇をめぐる論争は、奈良仏教を小乗の戒律によっていることから小乗とみなし、大乗仏教である天台宗は独自の戒律を持つべきであるとしたことによる。

イ 正しい。細かい知識であるため、消去法で解答に接近したい。徳一は会津の法相宗の僧侶というだけで、生没年を含めて詳しいことはわかっていない人物である。

ウ 空海が嵯峨天皇の信頼を得たことは問題がないが、空海が密教を修めて帰国した806（大同元）年に桓武天皇は亡くなっているため、誤りである。

エ 空海が密教の道場として東寺を賜ったのはよいが、東寺が大安寺を移転したものという点で誤りである。桓武天皇は、奈良にある寺院が新都に移転することを禁じたことを思い起こしてほしい。東寺は、西寺とともに、平安遷都直後の796（延暦15）年に新たに創建されたものである。

オ 空海が三筆の1人で「風信帖」を書いたのは事実であるが、「風信帖」の宛先は最澄であるため誤りである。弘仁・貞観文化期に唐風の書の名人とされたのが三筆と称される人物で、空海、嵯峨天皇、橘逸勢がそれに当たる。因みに、弟子の泰範に宛てた書状とは最澄が書いた。

た「久隔帖」のことである。

問2 先に冒頭の空海に関して記した箇所では明らかなように、解答はエの『三教指帰』である。

ア 『顕戒論』も同じく最澄の所で記した。

イ 『性霊集』は、弟子の真済が編んだ空海の詩文集である。

ウ 『山家学生式』は最澄が天台宗の僧養成の課程を定めたもの。

オ 『文鏡秘府論』は空海が漢詩文作成の参考とするために六朝・唐代の文学評論を集め、それに評論を加えたもの。

問3 『入唐求法巡礼行記』から円仁が出なければいけない。真言密教（東密）は空海の段階ではほぼ完成していたのに対して、天台密教（台密）は最澄の後継者たちによって発展、完成されていった。代表的人物が円仁と円珍である。円仁は838（承和5）年の遣唐使について唐に渡り、五台山で学んだ。のちに長安に行くが唐の武宗による廃仏令、会昌の法難といわれる事件に遭遇する。847（承和14）年に、遣唐使は派遣されていなかったため、新羅の商船に乗って円仁は帰国した。この渡唐体験を記録したのが『入唐求法巡礼行記』である。

円珍も唐に渡って仏教を学んだ。のちに円仁派と円珍派は対立し、993（正暦4）年に円珍派は比叡山を降りて園城寺（三井寺）に拠った。以降、円仁派を山門派、円珍派を寺門派という。

問4 山岳信仰の始まりの神話的人物に役小角がいる。景戒の『日本霊異記』によれば葛城の一言主という神に讒言され捕らえられ、天皇によって伊豆に流された役小角は、夜になると富士山で修行をし、のちに許されると仙人となって天に昇ったという。神道と道教と仏教が融合した話である。天台宗も真言宗も山岳にこもり修行することから、山岳信仰と結びつき修験道と呼ばれるものの源流の一つをなした。修験道の行者を山伏という。中世以降熊野三山や吉野の大峰山を初めとして北陸の白山、出羽三山など各地で修験者の集団が形成された。

問5 10世紀から11世紀にかけては東アジア全域が大きく変化していく時代であった。907（延喜7）年に唐が、926（延長4）年に渤海が、935（承平5）年に新羅が相次いで滅ぶ。日本では律令国家体制が崩壊して、地方で武士の反乱が続発する時代に転じていく。疫病や飢饉に対する社会的な抵抗力も弱体化し、こうした時代の社会不安を背景として、従来の現世利益を追求する仏教と異なる仏教として生まれたのが、浄土教である。

問5を答えるに当たり、史料文中の「市聖」に注目したい。聖とは民間の宗教者を呼ぶ言葉である。10世紀後半に京都市中で念仏の功德を説いたと伝えられる空也をさすことは基本的知識といえよう。空也について詳しいことはわからない。自ら創建した六波羅蜜寺で亡くなった。鎌倉時代に康勝が作った空也上人像がある寺である。

問6 最初の往生伝ということから「日本往生極楽記」だと分かる。極楽往生に対する人々の関心が高まると、かつて極楽往生したと伝えられる人々の伝記集が盛んに編まれるようになる。往生伝である。その最初のもので伝えられるのが985（寛和元）年に成立したと伝えられる慶滋保胤の『日本往生極楽記』である。

なお、恵心僧都源信の『往生要集』と間違えないでほしい。『往生要集』は極楽往生に関する経論を集め、浄土教を理論的に大成したもの。

問7

ア 末法思想の基本の問題。正法・像法・末法の3つの時代を表す言葉は必ず覚えておきたい。

正法の次の時代は像法であり衰法ではないから誤り。

イ この時代の人が往生を望んだのは「極楽浄土」と称された阿弥陀如来が住む阿弥陀浄土であったから誤り。浄土には弥勒菩薩が住むという弥勒浄土や釈迦如来が住むという釈迦浄土などもある。また阿弥陀仏の住む世界は西に存するという考えから西方浄土という言葉も生まれた。

ウ 称名念仏は仏つまり阿弥陀仏の名前を唱えること、観想念仏は仏の姿を心に念じること、ということが区別できれば誤りとできる。観想念仏を具現したものが貴族たちが創建した寺院であり、藤原道長の法成寺、藤原頼通の平等院が有名。

エ 正解なのだが、これを正と直接にするのは難しかろう。本尊として九体の阿弥陀仏を安置することは当時としては珍しいことではなかった。しかし、現存するのは京都府南部にある浄瑠璃寺（九体寺）だけになってしまっているし、平等院は巨大な定朝作の阿弥陀如来像が一体あるだけなので分かりづらいだろう。実は道長の法成寺阿弥陀堂には定朝作の阿弥陀仏が九体安置されていた。

オ 『往生要集』のことで、『教行信証』は親鸞の著作であり誤りである。

問8 鎌倉仏教各宗派の名称とその宗派の中心寺院を問う問題であるが、鎌倉仏教各宗派に関する基本事項を表にしておくので確認してほしい。

宗派名	開祖	開祖の出身地	開祖の主著	主要寺院
浄土宗	法然（源空）	美作国／武士の子	選択本願念仏集	知恩院
臨済宗	栄西	備中国／武士の子	興禅護国論	建仁寺
浄土真宗	親鸞	京／公家の子	教行信証	本願寺
曹洞宗	道元	京／公家の子	正法眼蔵	永平寺
時宗	一遍	伊予国／武士の子		清浄光寺
日蓮宗	日蓮	安房国／漁民の子	立正安国論	久遠寺

開祖の主著は必ず覚えよう。栄西では『喫茶養生記』も忘れてはならない。栄西は喫茶の風習を日本に伝えたといわれる。当時は、薬としての効用が説かれたことは、養生記ということからも分かる。栄西はこれを病気がちだった源実朝に贈った。また、親鸞の中心思想である「悪人正機説」が記された唯円の『歎異抄』、道元の「只管打坐」を記した懷奘の『正法眼蔵随聞記』も見ておこう。

主要寺院は、現在その宗派の総本山と称するものである。知恩院は法然が比叡山を降りて念仏を広めた吉水坊があった所であり、法然の時代に知恩院はない。本願寺は西本願寺のことである。織田信長に屈した顕如の死後、長男教如と三男准如との間に後継者争いが生じたが、准如が正統とされ顕如が創建した寺を引き継いだ。これが今日の西本願寺である。清浄光寺は1325（正中2）年の創建。一遍は1289（正応2）年に亡くなっているから、これも一遍の時代には存在しない。開祖と直接関係のある寺は、建仁寺・永平寺・久遠寺の3つである。建仁寺は栄西が源頼家の庇護のもとに創建したものである。永平寺は世俗を嫌った道元が越前の豪族波多野義重から寄進を受け創建したもので、これが最も重要である。久遠寺は日蓮が佐渡への配流から赦された後に身延山に入り創建した寺で、日蓮の遺骨が納められている。

開祖の出身はその土地と階層に注意して覚えよう。階層では、他が武士や公家という支配階級なのに対し、日蓮の庶民の出身というのが目立っている。それゆえ、日蓮を判別するのに重要である。

また、開祖の内半分の3人は時の権力によって配流されていること（法然が土佐（実際は讃岐とも）、親鸞が越後、日蓮が初め伊豆に、のちに佐渡）、一遍を除く5人は比叡山で修業をしていることも確認しておこう。空海が開いた真言宗は密教としての完成度で最澄の天台宗を圧倒したが、空海以後、その完成度ゆえに優れた僧侶を生むことが難しかったといわれる。一方、最澄の天台宗は鍋の中に様々な具を入れたおでんのようなもので、法然は、念仏という大根を取り出して、これだけを食べていればよいといい、日蓮は法華経というこんにゃくを取り出し、これだけ食べていれば、空腹も満たされ、体内の悪いものも除去されると主張した。当然、旧仏教からは、はんぺんもつまれも食べなければおでんではないと攻撃されたのはいうまでもない。

問8 イであることは以上の記述で明らかであろう。

問9

ア 悪人正機説は親鸞であるから誤り。

イ 『喫茶養生記』を献じたのは源実朝であるから誤り。

ウ 正しい。「瓢鮎図」は室町文化の水墨画のところで如拙の作品として重要なものである。

エ 道元は先に記したように京の公家源道親の子であるから誤り。

オ 一遍は道元の弟子ではないから誤りである。

問10 鎌倉仏教の成立と並行して旧仏教の側でも改革運動が行われる。その運動の主要な人物は4人ないし5人を覚えておけばよい。俊しゅん 仍じょう が問われれば難問ということになる。

貞慶（解脱）	法相宗	興福寺で学ぶ。笠置寺に隠棲。法然を批判する「興福寺奏状」を記す。
俊仍		戒律の復興のため入宋。泉涌寺を創建、律・天台・禅・浄土の四宗を兼学とする。
高弁（明恵）	華嚴宗	高山寺を再興。『摧邪輪』を著し法然を批判。
叡尊（思円）	律宗	大和西大寺で戒律の復興に努める。
忍性（良観）	律宗	叡尊の弟子。北条氏に招かれ極楽寺開山となる。救癪施設北山十八間戸を建てる。

【配点】

各1点

【2】

解答

A 2 B 2 C 5 D 4 E 5 F 4 G 3 H 3

解説

中世から近世初期にかけての社会・経済に関する問題である。1つ1つの選択肢が長めの誤文選択となると見ただけで苦手という生徒は多い。しかし、教科書をベースにした基本的な知識さえあれば正答できる設問が大半なので、ここで確認してほしい。

- A 2が誤り。鎌倉時代に畿内・西国で二毛作が行われ、農民は稲作の裏作として麦（田麦と呼ばれた）を栽培した。領主側は米に加えて裏作の麦までも課税対象にしようとしたが、鎌倉幕府は「自今以後、田麦の所当を取るべからず」といって田麦への年貢賦課を禁じている。
- 1 関東において二毛作が普及するのは室町時代である。また、室町時代には先進地帯で三毛作（米・麦・そば）も行われていた。『老松堂日本行録』の史料を参照すること。
- 3 牛耕の普及はとくに著しかった。
- 4 刈敷は刈り取った草などを直接田畑に埋め込んで腐らせたもの。草木灰は草木を焼いて得た灰。ともに肥沃な土壌をつくるのに役立ち、生産力の向上につながった。
- 5 鎌倉時代、名主の下には、名田や荘官の給田を請作する小百姓や名主に隷属する下人・所従がいたが、通常、村の運営には参加させてもらえなかった。
- B 2が誤り。木綿が朝鮮から伝わったのは鎌倉時代ではなく室町時代。木綿は、以後衣料などに用いられ、戦国時代には兵衣の他、鉄砲の火縄、船の帆などに用いられたため需要が急速に拡大し、国内栽培を促した。最初は三河で栽培され、その後各地に広がっていった。
- 1 中世の飢饉としては、1181（養和元年）年～養和の飢饉／1231（寛喜3）年～寛喜の飢饉／1461（寛正2）年～寛正の飢饉、を覚えておきたい。
- 3 鎌倉時代には農業の発達に伴い、商工業も発達しており、各地を巡る職人もいた。
- 4 大唐米は室町時代だと思って4を選んだ生徒が多かったかもしれない。確かに大唐米が普及したのは室町時代であるが、鎌倉時代にはすでに中国より輸入されていた。教科書などにその旨の記述があるので確認してほしい。
- C 5が誤り。行商人というと室町時代の振売・連雀商人・大原女・桂女などを連想するが、鎌倉時代にも行商人は存在した。鎌倉時代、交通の便のよい荘園や国衙領では月に3回開かれる三斎市などの定期市が開かれ、そこでは行商人によって中央から運ばれた鉄製農具や、大陸からもたらされた高級な陶器・織物が交易されていた。
- 1 旅客の宿泊施設や荷物輸送の人馬を備えたところを宿駅といった。宿駅は交通の要地に設けられたため、守護・地頭の館が置かれたり、定期市が立ったりするなど、地方都市として繁栄していった。
- 2 直接耕作をする農民の年貢が銭納になるのは室町時代。
- 3 この史料は「ミ、ヲキリ、ハナヲソキ、アマニシテ」のフレーズで有名である。紛らわしいものに平安時代、百姓が受領である藤原元命を訴えた尾張国郡司百姓等解文（988）があるので区別できるようにしたい。
- 4 「一遍上人絵伝」は円伊が描いたもので、当時の社会がわかる貴重な資料である。備前国福岡市の場面の他に武士の館や踊念仏の様子が教科書に載っているので確認してほしい。
- D 4が誤り。平安時代に始まった日宋貿易は、鎌倉時代になっても宋との正式な国交こそなかったものの貴族や寺院の間で盛んに行われていた。輸入品としては、高級織物・銅銭・香料・書籍・陶器・茶などがあり、輸出品は金・硫黄・刀剣などが中心であった。
- 1 問丸の一部は室町時代に問屋に成長した。
- 3 為替を扱う業者を割符屋（替銭屋）といい、為替手形である割符の振出しとその支払いを取り扱った。
- 5 鎌倉時代、室町時代を通じて国内での銭貨発行はなされず、中国貿易によって得られた貨

幣を用いていた。

E 5が誤り。鎌倉時代までの村落では、おとな（乙名）・沙汰人・年寄などと呼ばれる指導者が寄合を構成していたが、室町時代後期になると地侍などに従属していた小百姓や下人から独立する者も現れ、新たに寄合に加わるようになった。

1 地侍は土着した武士で荘園内における地主であるとともに、国人や大名などと主従関係を結んで侍身分を獲得した者である。地侍は村落の指導者であるとともに戦国時代には戦国大名の軍事力の基礎をなした。

2 惣では乙名・沙汰人・年寄・番頭といった指導者を選び惣掟を作成した。内容としては寄合への出席を義務付けるものや、水利や山野利用についての取決めの他に、犬を飼ってはいけないなど日常生活に関することまで様々であった。もし背く者が出た場合は村から追放するなどして自検断を行い、自ら村の警察権を行使して村の秩序を保った。惣掟として重要なものに近江国今堀惣村掟がある。

3 室町時代にはいくつかの惣が集まって大寄合を開くこともあった。番水制は水の不足する時期や地域において時間を区切って用水を利用しようという取決めであり、早稲田大学で出題されることがあるので覚えておきたい。

4 「一味神水」とは一揆などの行動を起こす際の儀式で、神社の神水に起請文を焼いた灰を混ぜ、全員で回し飲みをすることで、団結して行動を起こす上での結束を固めようとするものである。また「一味神水」によって団結した状態を「一味同心」という。

F 4が誤り。豊臣秀吉によって天下が統一されたまではよいが、それによって貨幣制度が一本化されたとはいえない。また、撰銭令は江戸時代になってもしばらく発令されていた。よって天下統一以降撰銭令が発令されていないというのも誤り。寛永通宝が大量に出回ってようやく撰銭はおこなわれなくなった。

1～5 撰銭とは貢納や商取引などにおいて通用価値の低い銭貨の受取りを拒否し、精銭による支払を要求する行為をいう。この撰銭を禁止または制限する法令を撰銭令というが、主たる内容は以下の3つである。

- ①銭の使用にあたり、良銭だけを撰ぶことを禁止するもの
- ②渡来した精銭と私鑄銭との混入比率について
- ③悪銭売買の禁止

室町幕府・大名・惣村などが自己の支配の及ぶ領域内において各種銭貨の通用価値を公定することで、流通貨幣量の量的拡大による貨幣流通の円滑化をめざした。

G 3が誤り。当時、日本の刀剣の品質はきわめて高く、中国に20万本以上が輸出されたといわれている。よって、中国と日本が逆である。

1 灰吹法は神谷寿禎が朝鮮から導入した銀の精錬技術で、以後日本における銀の生産量は飛躍的に拡大した。豊臣秀吉に博多の復興を命ぜられ、また、朝鮮出兵に際して物資の調達で貢献した神谷宗湛は寿禎の孫に当たる。

2 大鋸の絵図が図表などにあるので参照のこと。その他関連して、職人の様子を描いた「七十一番職人歌合」も教科書や図表にあるので絵と職人が一致できるようにしてほしい。

4 室町時代中期以降になると座外の商工業者も多く現れ、新座を結成したり、営業の自由を求めて旧来の座商人との間に争いが激化した。戦国大名は、旧来の座の力を利用する一方で

新興商工業者をも掌握し、楽市・楽座を行って座を撤廃していった。

- H 3が誤り。大和の今井は門前町ではなく寺内町。町についての基本的な知識が抜けている生徒が多いので最も差がつきやすいところである。ここでもう一度整理しておいてほしい。

門前町	伊勢神宮の宇治・山田，延暦寺の坂本，園城寺の大津，興福寺の奈良，善光寺の長野
寺内町	越前吉崎，山城山科，摂津石山，大和今井，河内富田林，加賀金沢，越中井波，和泉貝塚
港 町	陸奥十三湊，若狭小浜，近江大津，伊勢桑名，伊勢大湊，摂津兵庫，備後尾道，備後草戸千軒町（のち水没），薩摩坊津，和泉堺
城下町	越後春日山（上杉），越前一乗谷（朝倉），相模小田原（北条），甲斐府中（武田），駿河府中（今川），周防山口（大内），豊後府内（大友）
自由都市	筑前博多（年行司 12 人），和泉堺（会合衆 36 人），摂津平野，伊勢大湊（老分衆）

- 2 寺内町では周囲からの攻撃に備えて自衛体制をとるとともに，商工業者を集住させて自由な経済活動を保護した。
- 5 応仁の乱後，中絶されていた祇園祭・大嘗祭・賀茂祭（葵祭）であるが，1500（明応9）年に祇園祭が京都の町衆により復活され，さらに江戸時代，徳川綱吉のときに大嘗祭，賀茂祭も復活した。

【配点】

A～H：各1点

【3】

解答

- A a 68 b 53 c 56 d 60 e 59 f 44 g 31 h 34
i 42 j 05 k 33 l 23 m 30 n 40 o 52 p 20
q 12 r 01 s 28 t 08
B (ア) 荻生徂徠 (イ) 懷徳堂 (ウ) 塙保己一 (エ) 高橋至時

解説

江戸の諸学問についての問題である。単に学者と学派・著書を一致させるだけでなく，学派の特徴や系譜図（師弟関係）とともに幕政や藩政との関わりを押さえておくべきである。

A

- a 李退溪（1501～70）は16世紀に活躍した朝鮮を代表する儒学者。難問であるが，早稲田大学などで出題されている。朝鮮出兵の際，日本に強制連行された姜沆との区別も重要である。
- b 『本朝通鑑』は幕命により編纂された史書で，宋の司馬光が編纂した『資治通鑑』にならない編年体によって神代～後陽成天皇までを記している。林羅山の『本朝編年録』の草稿に修正を加えつつ，子の鶯峰が書き継いで完成した。儒教的合理主義の立場より叙述されており，水戸藩の『大日本史』編纂事業に大きな影響を与えた。
- c 前田綱紀は加賀藩5代の藩主であり3歳で家督を継いで以来約80年間藩政に携わった。改作法の実施や村落行政組織・租税制度を整えるなど藩政改革を推進した。また，好学の大

- 名としても知られ、木下順庵の他、本草学者稲生若水を登用し、学問を振興した。「東寺百合文書」の整理を行ったことも知られる。
- d 室鳩巢は木下順庵の弟子で、新井白石の推挙により徳川吉宗の侍講となった。『六論衍義』を和訳して『六論衍義大意』を著し、朝鮮通信使の応対に当たった。朱子学を厚く講じ、赤穂浪士を義人としたのは鳩巢が最初である。随筆『駿台雑話』がある。
- e・f 南学派（海南学派）は土佐に起こった朱子学一派である。戦国時代、土佐の吉良氏に仕えた南村梅軒によって始められたとされている。儒禅一致の立場を採り、その後いくつかの系統に分かれるが、江戸時代にその1つから出た谷時中により学派の基礎が固められたため、谷時中は南学の実質的な祖といわれる。時中の門下には土佐藩家老野中兼山や崎門学派を形成する山崎闇斎が出ている。
- g 浅見綱斎は山崎闇斎の門下に入り朱子学を学び崎門三傑の1人となるが、闇斎の神道説をとらず批判したため破門された。中国の忠臣義士を顕彰した編著『靖献遺言』がある。
- h 竹内式部は、京都で公卿に大義名分を重んずる垂加神道を講義したことから京都から追放された（宝暦事件）。後に明和事件で山県大武や藤井右門に連坐して八丈島への流罪となった。
- i 中江藤樹は日本陽明学の祖とされる。当初朱子学を講じていたが、のち陽明学に転じ、生地である近江で熊沢蕃山らの門人を育て、近江聖人として崇敬された。
- j・k・l 熊沢蕃山は16歳で池田光政に仕えるが一時職を辞して中江藤樹の門人となった。再び光政に仕え藩政改革に尽力し名声を得たが、隠居後は『大学或問』を著し幕政を批判したため下総古河へ幽閉された。
- m 藩校・郷校についてはもちろん、私塾についても基本的なものは確実に記述したい。
- n 国学の大成者本居宣長は政治意見書『秘本玉くしげ』を紀伊藩主徳川治貞の求めに応じ著した。その中で百姓一揆の背景を基本的には貧困としながらも、領主の失政によって民衆の間に不満が生じ、領主をあなどるという感情がめばえ、結果として一揆が引き起こされるとしている。
- o 平田篤胤は秋田藩士の家に生まれた。江戸で学び本居宣長の死後の門人となった。復古主義・国粋主義の立場から復古神道を大成し、その神道説を強化して儒仏を排撃した。篤胤の学派は豪農や神官に広まり、草莽の国学として尊王攘夷運動にも影響を与えた。著書に『古史徴』『古道大意』などがある。
- p イタリア人シドッチは、日本でのキリスト教布教のため1780（安永9）年、屋久島に潜入したが、即座に捕らえられ新井白石の尋問を受けた。白石はシドッチの人格・学識を高く評価するとともに『西洋紀聞』『采覧異言』を著し、鎖国下において洋学が勃興していくひとつのきっかけとなった。
- q 西川如見は天文学者で長崎通詞出身。『華夷通商考』は世界の国々について気候・物産・日本からの道程などが記されており、外国地理書の先駆的意義を持つ。
- r 吉宗から蘭語習得の命令を受けたのは青木昆陽と野呂元丈であるが、両者の区別をつけておきたい。青木昆陽はさつまいも栽培の研究や、前野良沢に蘭語の指導を行った。著作に、『蕃薯考』『甘藷記』『和蘭文字略考』がある。野呂元丈は本草学者で、稲生若水に学んだ。著作には『阿蘭陀本草和解』がある。

s 芝蘭堂は1786（天明6）年、大槻玄沢が江戸で開いた蘭学塾。オランダ正月（新元会）の祝賀を開いたことで知られる。『芝蘭堂新元会図』にその様子が描かれている。

t 芝蘭堂に学んだ稲村三伯は日本最初の蘭日辞書である『ハルマ和解』を刊行した。別名を『江戸ハルマ』という。これに対して長崎ではオランダ人ゾーフらが蘭日辞書『ゾーフハルマ』を刊行している。

B

(ア) 荻生徂徠は江戸茅場町に護国塾を開設して、古文辞学を興した学者で、8代将軍徳川吉宗への答申書である『政談』で、武士土着論や参勤交代の弊害などを指摘して、吉宗の上米の制に影響を与えた。その他にも『弁名』『弁道』『論語徴』などが早稲田大学でよく出題されている。

(イ) 懷徳堂は1724（享保9）年に開校した大坂町人出資による学問所であり庶民教育を目的とした。初代学主には三宅石庵を迎え、以後中井甕庵やその子中井竹山などがあとを引き継いだ。懷徳堂は、第二次世界大戦の空襲により罹災し、蔵書は大阪大学へ寄贈された。

(ウ) 塙保己一は古代から江戸時代初期までの未刊の文献1270種を530巻に編集した。分類は菅原道真の『類聚国史』にならい神祇・帝王など25部に類別し、文献史料の散逸を防止した。

(エ) 麻田剛立のもとに入門した天文方高橋^{よしとき}至時と間重富は、天文学を学んで寛政暦を完成した。また、至時は伊能忠敬に測量技術を教えたことでも知られる。至時の子景保も天文方を勤め、『大日本沿海輿地全図』の完成に尽力したが、その地図をシーボルトに譲渡したことが発覚し捕らえられ獄死した。景保は蛮書和解御用（掛）の設置を建議した人物でもある。

【配点】

a～t：各1点

(ア)～(エ)：各1点

【4】

解答

〔A〕あ 朝鮮 い 立憲国民党 う シーメンス え 袁世凱 お 段祺瑞
か 富山 き 3 く 小選挙区 け 森戸 こ 四カ国 さ 戒厳令
し 甘粕 す 憲政会 セ 25 そ 綿織物（綿糸） た 生糸 ち 船成金
つ 鞍山

〔B〕 4

〔C〕 陸軍が軍部大臣現役武官制を利用して後任の大臣を送らず、陸相不在となり総辞職した。（40字）

〔D〕 文官任用令 〔E〕 三・一独立運動（三・一事件、万歳事件）

〔F〕 普通選挙法の実施や日ソ国交樹立によって、活発化するであろう共産主義活動の取締りをめざした。（45字）

〔G〕 4 〔H〕 在華紡（在華紡績） 〔I〕 3

解説

大正期の政治と経済を中心とした問題。大正デモクラシーの雰囲気の中で、歴代内閣の事績と政党政治の進展の過程、および普通選挙実現の過程を理解するのがポイントである。また、

大戦景気で進展した重工業化の内容を植民地や中国に関連付けて理解したい。

また、本問ではほとんど触れなかったが、対欧米協調外交と「大陸経営」という対中国外交、アメリカの対日封じ込め策についても確認をしておこう。

〔A〕

あ 1907（明治 40）年の帝国国防方針では、陸軍はロシアを仮想敵国として平時 25 個師団、海軍はアメリカを仮想敵国として八・八艦隊を整備するとした。しかし、財政難からその実現は遅れており、陸軍は植民地とした朝鮮の治安維持と防衛のために 2 個師団増設を強く要求した。

い 第一次護憲運動は、政治家のみならず都市の実業家や商工業者、民衆などを含む広範な国民運動の様相を呈した。この運動の先頭に立ったのが、政友会の尾崎行雄と立憲国民党の犬養毅であった。立憲国民党は、1910（明治 43）年に憲政本党など非政友会系の小会派が犬養を党首とし、合同して結成した。

う 政友会を与党とした山本権兵衛内閣は、政党政治の進展政策をとったが、同時に、八・八艦隊完成をめざし海軍の拡張も進めていた。ところが 1914（大正 3）年、海軍高官とジーマンス社（ドイツ）やビッカース社（イギリス）の汚職事件であるジーマンス事件が発覚した。山本自身は無関係だったが、総辞職した。

え 孫文から政権を奪い中華民国大総統となったのが袁世凱である。大隈内閣は袁世凱に二十一カ条の要求を行った。当時の中国は近代国家とはいえ日本に敵すべくもなく、大隈重信内閣の最後通牒に屈服したのである。しかし、欧米列強は対日不信を募らせ、中国民衆の反日感情は深まり、5 月 9 日を国恥記念日として抗日運動が活発化するのである。

お 袁世凱の死後、1916（大正 5）年に北京政権を掌握したのは安徽軍閥の段祺瑞で、西原借款をうけて親日的態度をとった。西原借款は中国侵略をはかる日本の投資借款の典型で、日本興業銀行や朝鮮銀行などの特殊銀行から資金を調達した。目的は中国の内乱を助長し、日本権益を拡大することにあった。

か 大戦景気やシベリア出兵の米の買占めで、1918（大正 7）年の 3 月に 1 升 20 銭であった米価が 8 月には 50 銭と急騰していた（この頃の平均日給は 50 銭）。同年 7 月、米の安売りなどを求めた富山県魚津町の主婦たちが警官隊と衝突した。騒乱は 1 道 3 府 38 県で約 70 万人に拡大し、寺内正毅内閣は軍隊まで派遣した。米騒動は発端が主婦にあったため、女一揆・女房一揆などともいわれる。

き 普通選挙に冷淡だった原敬も大示威行動（デモ）など国民の普選運動には対抗できず、妥協策として、納税額を 10 円から 3 円に引き下げた。この結果、有権者は約 3 倍の約 306 万人（総人口の 5.5%）に増大した。因みに、選挙資格の変遷は 5 段階あるので、確認しておきたい。

く 原敬は選挙法改正に際して、納税制限の引下げと同時に、政権与党の立憲政友会が有利になるように小選挙区制を導入して、1920（大正 9）年の総選挙で大勝したが、汚職事件が続発することにもなった。

け 森戸事件は、東大助教授の森戸辰男の「クロボトキンの社会思想の研究」という無政府主義に関する研究論文が危険思想とされ、同僚の大内兵衛とともに休職処分となった筆禍事件。当時、学問・思想の弾圧として大きな反響を呼んだ。昭和の思想弾圧への第一歩といえる事

件であった。

こ アメリカは、バルサイユ体制で太平洋・中国に勢力を拡大した日本の封じ込めをはかりワシントン会議を開催した。四カ国条約で太平洋の現状維持と日英同盟廃止、九カ国条約で山東省の日本権益の中国返還、海軍軍縮条約でアメリカ海軍の日本海軍に対する優勢の獲得と、ほぼアメリカの思惑通りに日本の勢力を抑制した。当時日本は、国際的孤立や不況、財政難からアメリカとの妥協を得策としたのである。

さ 関東大震災で治安は悪化し、警官の職場放棄などで警察力も弱体化し、市民が自警団を作る有様であった。この混乱を収束するため山本内閣は軍隊で治安を維持する戒厳令を布告した。因みに、戒厳令は1905（明治38）年の日比谷焼打ち事件、関東大震災と1936（昭和11）年の二・二六事件と3度出された。

し 関東大震災の混乱の中、様々な不祥事が続発した。在日の朝鮮人や中国人の虐殺事件、日本人労働運動家10名を虐殺した亀戸事件、そして、甘粕正彦憲兵大尉らが無政府主義者の大杉栄を内妻や甥の少年とともに扼殺したのが甘粕事件である。

す 第二次護憲運動は第一次ほど盛り上がりなかったが、それでも、憲政会・革新倶楽部・立憲政友会高橋は清派が護憲三派として運動をリードした。憲政会は、1916（大正5）年に加藤高明を総裁として立憲同志会・中正会・公友倶楽部が合同して結成した政党で、のちに立憲民政党になる。

せ 普通選挙法は、納税制限を撤廃し、男性25歳以上に選挙権を、30歳以上に被選挙権を認めた。このため有権者は約1240万人（総人口の20.8%）と一挙に4倍以上に増加した。なお、普通選挙法というと現在の選挙制度と混同することがある。この時の選挙権は男性だけで女性には認められていない。男女20歳以上に選挙権が認められるのは、終戦後の1945（昭和20）年のことである。

そ 第一次世界大戦は、大戦景気という空前の好景気をもたらした。戦争中の欧州諸国や、欧州諸国の商品が途絶えたアジア市場へとまさに大正版バブルである。アジア市場へは綿製品の輸出が増大し、とくに、中国市場は日本が独占的地位を得た。在華紡の拡大はこの延長線上にある。

た 日本と同様に中立国の利益を得て戦争景気に沸くアメリカには、生糸の輸出が増大した。

ち 第一次世界大戦で世界的な船舶不足となり、日本では船成金が出現した。内田信也の興した内田汽船や山下亀三郎の山下汽船が典型である。造船業も6工場から57工場へと飛躍的に増加した。

つ 大戦景気で鉄鋼業が銑鉄生産高2.5倍、鋼材生産高約2倍と発展する中、満鉄は二十一条の要求で獲得した採掘権を基礎に鞍山製鉄所を設立した。植民地への資本輸出の典型である。

〔B〕 普通選挙運動の始まりは意外に古く明治期のことである。1892（明治25）年に大井憲太郎が東洋自由党を組織し、その中に普通選挙期成同盟会を設置した。その後、1899（明治32）年に大井憲太郎や幸徳秋水ら社会主義協会の構成員が中心となり、普通選挙期成同盟会を結成して普選運動を進めた。

〔C〕 明治憲法体制は、俗に無責任統治体制ともいわれ、責任の所在が不明確になる特質がある。内閣総理大臣も閣僚中の首席にすぎず、内閣の決定は全員一致の原則によったため、首

相の指導力は今日に比べ脆弱だった。しかも、軍部大臣現役武官制のため、陸相が欠けると内閣は存続できない仕組みであった。昭和期に軍部がしばしば内閣を総辞職させて、政治を主導した理由もここにある。

〔D〕 山本権兵衛は、組閣に当たり立憲政友会の主義綱領を尊重すると約束し、政友会議員を閣僚 10 名中 6 名を任用した。その上で、政党の影響力拡大をはかるため、軍部大臣現役武官制を改正して、予・後備役の大・中將にまで任用資格を拡大した。さらに、文官任用令を改正して自由任用制とし、政黨員の高級官僚任用を進めた。山本は薩摩海軍閥とはいえ、長州陸軍閥や貴族院、官僚などの山県有朋閥に比べ、その政治勢力は脆弱であり、政党との提携を模索したものと考えられる。

〔E〕 第一次世界大戦後の世界的な民族自決の風潮の中で、朝鮮では 1919（大正 8）年 3 月 1 日に日本の植民地支配に抵抗して「独立万歳」を叫ぶ独立運動が起こり、運動は約 1 年間続いた。日本は駐留軍や憲兵警察を動員して弾圧した。この後、憲兵政治を廃止したり文化政治を表明したが、植民地支配を強化した。因みに、同年中国でも大規模な反日運動である五・四運動が発生しているの、混同しないようにしたい。

〔F〕 治安維持法は、天皇制や資本主義経済の維持をはかったものである。大逆事件以後の「冬の時代」を経て、大正デモクラシーの風潮で社会主義者や共産主義者の活動が再開しており、日ソ基本条約の締結や普通選挙の実施は、左翼勢力の台頭と進出を容易に想像させるものがあつたのである。

〔G〕 立憲政友会は田中義一内閣の積極外交（強硬外交）で山東出兵などを実施した。民政党は幣原喜重郎を中心とした協調外交で、欧米諸国との摩擦を回避しながら、中国の内政に干渉せず経済進出をはかった。

1 「憲政の常道」というと現在の議院内閣制を連想するが非なるものである。田中義一内閣の立憲政友会は衆議院の第一党ではなかった。「憲政の常道」とは 2 大政党が交互に組閣したということである。

2 浜口雄幸内閣の井上財政のように自由主義的な内政と緊縮財政は立憲民政党である。

3 犬養毅内閣の高橋財政のように保守主義的な内政と積極財政は立憲政友会である。

〔H〕 大正期の日本の資本輸出の大部分は中国に向けられ、第一世界次大戦を機に、日本の紡績資本は中国各地に紡績工場を建設した。これが在華紡で、大正末期には 15 社が進出していた。1925（大正 14）年に、上海の在華紡のストライキ原因でやがて五・三〇事件が起きた。

〔I〕 大正時代の農業は、繭の生産増大や耕地面積の増加が見られたが、四大財閥を中心とする独占資本主義に組み込まれて、農業経営の資本主義的發展はほとんどなく、寄生地主制が最盛期を迎えて、農民階層の分解が進み、農業生産は停滞した。

【配点】

A あ～つ：各 1 点

B・D・E・G・H・I：各 1 点

C：3 点 F：3 点

【5】

解答

問1 4 問2 a-3 b-1 c-3 問3 2
 問4 1 a-1 b-2 c-8 2 4 問5 2 問6 1 問7 4
 問8 1 問9 1 a-6 b-1 c-2 2 ア 11 イ 8

解説

問1 朝鮮の独立は、カイロ会談により定められたものである。

問2

- a 吉田茂内閣の経済政策は重要である。以下蔵相とその政策をまとめる。
 1次-石橋湛山蔵相-傾斜生産方式
 2次-泉山三六蔵相-経済安定九原則
 3次-池田勇人蔵相-ドッジ=ライン
- b 復興金融金庫は、1947（昭和22）年設立。基礎産業に対し集中的融資を行ない、戦後の経済復興を支援した。しかし、資金の大部分を債券の日本銀行引受けによって調達したためインフレ（=復金インフレ）を促進した。ドッジ=ラインによって貸付けを停止され、1952（昭和27）年、日本開発銀行に貸出し残を引き継ぎ解散した。
- c 1ドル=360円の為替レートは、当時の日本経済から見れば、円高傾向であった。以後、日本経済の成長につれて、この固定相場は相対的に円安となり、原料である石油の低価格と相まって、日本は飛躍的に輸出を増大させた。

問3 シャウプは所得税（=直接税）中心主義を掲げた。約40年後の1988（昭和63）年、竹下登内閣は「シャウプ以来の税制改革」である消費税（=間接税）を導入した。

問4

- 1 a 芦田均内閣は1948（昭和23）年7月、マッカーサー書簡を受けて、政令201号を発令、すべての公務員の団体交渉権・争議権を否認した。さらに同年11月、第1次吉田茂内閣は、前年に制定された国家公務員法を改正し、国家公務員の団体交渉権・争議権は剥奪された。
- b 下山事件は1949（昭和24）年7月、国鉄総裁下山定則が行方不明となり、翌日綾瀬駅付近で轢死体となって発見された事件。
- c 三鷹事件は、下山事件の直後に起こった国鉄関連の事件。
- 2 全日本産業別労働組合会議（産別）は1946（昭和21）年、日本共産党の支持を受けて設立された。日本労働組合総同盟（総同盟）は同年、日本社会党の支持によって設立された。

問5 海上保安庁は芦田均内閣の1948（昭和23）年5月、海上の治安を担当する運輸省の外局として設立された。朝鮮戦争の勃発に際し、GHQはその増強を指令した。

問6 経済安定本部は経済政策企画庁として1946（昭和21）年に設置された。その後、1952（昭和27）年経済審議庁に改組。さらに1955（昭和30）年、鳩山内閣の時、経済企画庁に改組された。「経済白書」は経済企画庁が公表する年次経済報告書である。

問7 新安保条約は、1960（昭和35）年1月調印、5月には衆議院で強行採決、6月には参議院の承認がないまま自然承認された。

問8 1961（昭和36）年から1970（昭和45）年にかけての10年間の平均経済成長率は10%以上に達し、GNPは1968（昭和43）年には軽く2倍を越えた。

問9 GATT・IMF・OECDについてまとめておく。

●GATT（関税および貿易に関する一般協定）

1948（昭和23）年発足，日本は1955（昭和30）年に加盟，1964（昭和39）年に11条国（国際収支上の理由で輸入制限を行なえない国）に移行した。

●IMF（国際通貨基金）

1946（昭和21）年創立。戦前の金本位制停止（日本は1931〈昭和6〉年－犬養毅内閣）の後の為替レートの変動，特に世界恐慌後の為替切下げによる世界貿易の混乱（日本はソーシャル=ダンピングととくに非難を浴びた）を教訓とし，為替の安定，貿易拡大を目標として設立された。日本は1952（昭和27）年に加盟した。当初14条国（為替管理ができる国）であったが，1964（昭和39）年，8条国（国際収支を理由に為替管理ができない国）に移行した。

●OECD（経済協力開発機構）

1961（昭和36）年発足。加盟国の経済成長，世界貿易拡大等を目的とする。日本の加盟は1964（昭和39）年。日本は国内企業保護のため，外国資本の導入を禁止していたが，OECD加盟により資本の自由化が義務づけられることになった。

【配点】

各1点

【6】

解答例

A 1 ロ 2 ロ 3 ニ

B

初期議会では当初，軍備拡張をはかりたい藩閥政府と地租軽減を求める民党が予算案をめぐる対立し，その後も条約改正交渉を進める政府と内地雑居に反対する対外硬派連合が対立した。日清戦争後には，戦後経営を進める上で産業資本家の協力を得たい政府と産業振興策の実現をはかりたい政党が提携した。（140字）

解説

史料は，首相黒田清隆が政党の動向に左右されないとする超然主義を表明したものである。

A

1 文相の森有礼が1889（明治22）年2月11日の大日本帝国憲法発布の日に暗殺されたことは，東大で講義を務めたドイツ人医師ベルツの『ベルツの日記』にも記されている。森は薩摩藩出身で，幕末にイギリス・アメリカに留学し，帰国後は明六社に参加して啓蒙思想を広く説いた。1885（明治18）年，内閣制度の創設とともに第1次伊藤博文内閣の初代文部大臣となり，1886（明治19）年には一連の学校令を制定して学校体系を確立したが，以前から急進的な西洋主義が国粋主義者から批判されていた。

2 1872（明治5）年に新橋－横浜間が開通してから，東海道線の建設は政府の資金難に苦しみながらも続けられ，大日本帝国憲法発布の1889（明治22）年に静岡－浜松間が開業して新橋－神戸間が全通した。しかし，主要幹線の建設は日本鉄道会社（上野－青森間）・山陽鉄道会社（神戸－下関）間など会社設立ブームに乗って民営中心に進められたため，営業キ

口数は1889（明治22）年の段階で民営が官営を上回っていた。

3 大日本帝国憲法は君主（天皇）の意志によって定めた欽定憲法の形式をとった。これは、1868（明治元）年の五箇条の誓文における天皇が神々に誓う形式を踏襲したものである。

B（解答のポイント）

初期議会

- 予算案をめぐる対立（藩閥政府 = 軍備拡張 / 民党 = 地租軽減の主張）
- 条約改正交渉をめぐる対立 → 内地雑居に反対して対外硬派連合が結成

日清戦争後

- 政府 = 戦後経営（軍備拡張・積極財政）に産業資本家の協力を得たい
- 政党 = 与党となって産業振興策の実現をはかりたい

→ 両者の提携

【配点】

A：各1点， B：7点

【配点の目安】

予算案をめぐる対立

藩閥政府 = 軍備拡張（1点） / 民党 = 地租軽減の主張（1点）

条約改正交渉をめぐる対立 → 内地雑居に反対して対外硬派連合が結成（1点）

日清戦争後

政府 = 戦後経営（軍備拡張・積極財政）への産業資本家の協力（2点）

政党 = 与党となって産業振興策の実現（2点）



会員番号	
------	--

氏 名	
-----	--